



2026 年 2 月 9 日

各位

会社名 古河電気工業株式会社
代表者名 取締役社長 森平 英也
(コード：5801 東証プライム市場)
問い合わせ先 執行役員 IR 部長 滝田 博子
(TEL 03-6281-8540)

2026 年 3 月期 通期業績予想及び配当予想の修正（増配） に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2025 年 5 月 13 日に公表しました 2026 年 3 月期の連結業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

(1) 2026 年 3 月期通期連結業績予想の修正（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,200,000	53,000	52,000	36,000	510.83
今回修正予想 (B)	1,300,000	56,000	65,000	54,000	767.00
増減額 (B-A)	100,000	3,000	13,000	18,000	—
増減率 (%)	8.3	5.7	25.0	50.0	—
(ご参考) 前期実績 (2025 年 3 月期)	1,201,762	47,032	48,506	33,357	473.36

(注) 2026 年 3 月期第 3 四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025 年 3 月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 修正の理由

2026 年 3 月期通期の連結業績につきましては、前回公表時の想定に比べ円安で推移したことから、全セグメントにおいて売上高および利益面で押し上げ効果が生じました。

自動車部品事業では、ワイヤハーネスの売上が堅調に推移し、売上高・営業利益ともに前回予想を上回る見込みです。情報通信ソリューション事業では、データセンタ向け投資需要の継続を背景に関連製品の販売が伸長し、営業利益が前回予想を上回る見込みです。エネルギーインフラ事業では、電力ケーブルおよび産業電線・機器の販売が堅調に推移し、営業利益が前回予想を上回る見込みです。一方、機能製品事業では、半導体製造用テープの需要回復の遅れに加え、銅価高騰に伴う原料価格の上昇により、売上高・営業利益ともに前回予想を下回る見込みです。これら

の結果、連結売上高および営業利益は前回予想を上回る見込みとなりました。

さらに、持分法投資利益の増加や為替差損益の改善により経常利益が、株価上昇による退職給付制度改定益の計上などにより親会社株主に帰属する当期純利益が前回の公表予想を上回る見込みとなりました。

以上の理由から、2025 年 5 月 13 日に公表いたしました通期の業績予想を上記のとおり修正いたします。

2. 期末配当予想の修正

(1) 配当予想の修正内容

	年間配当金（円）		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回発表予想	円 銭 0. 00	円 銭 120. 00	円 銭 120. 00
今回修正予想	0. 00	160. 00	160. 00
前期実績 (2025 年 3 月期)	0. 00	120. 00	120. 00

(2) 修正の理由

当社では、資本効率を重視した経営を目指し、成長戦略投資や次世代新事業育成、財務体質の改善ならびに株主還元のバランスをとることを、資本政策の基本方針としております。

この基本方針のもと、2025 年度を最終年度として策定した中期経営計画「Road to Vision2030－変革と挑戦－」においては、利益成長を通じて企業価値向上を図るべく、成長分野に重点的に投資するとともに、安定的かつ継続的に株主還元していくこととし、親会社株主に帰属する当期純利益の 30%を目途として業績に連動した配当を行うことを株主還元方針としております。

2026 年 3 月期の期末配当金につきましては、当期の業績見込み等を踏まえ、従来予想 の 1 株当たり 120 円から 40 円増配し、1 株当たり 160 円の予想に修正することといたしました。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報、及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績及び配当は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上